

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科(社会)科目(地理A) 年間授業計画

教科:社会 科目:地理A 単位数:2単位

対象学年組:第1学年1組~6組

教科担当者:(1組:渡辺浩章)(2組:渡辺浩章)(3組:渡辺浩章)(4組:渡辺浩章)(5組:渡辺浩章)(6組:)

使用教科書:(高等学校新地理A(帝国書院)・詳解現代地図(二宮書店))

使用教材:(世界の諸地域NOW2021(帝国書院))

	指導内容	科目地理A 具体的な指導目標	配当 時数
4月	地球儀や地図からとらえる現代社会	・地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。 ・時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。	5
5月	地球儀や地図からとらえる現代社会	・地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。 ・時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。	1
	地球儀や地図からとらえる現代社会	・地球儀や世界地図などを活用して、日本の位置をとらえることができる。 ・我が国が当面する領土をめぐる問題や経済水域の問題について、我が国が正当に主張している立場を理解するとともに、国境のもつ意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを理解する。	4
6月	人間生活を取り巻く環境	大気の大循環やモンスーンについて理解するとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について理解する。	6
	世界の諸地域の生活・文化	東アジアの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	4
7月	1学期のまとめ	1学期の学習内容を整理し、まとめることができる。	2
9月	世界の諸地域の生活・文化	東アジアの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	3
	世界の諸地域の生活・文化	東南アジアの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	5
10月	世界の諸地域の生活・文化	南アジアの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	4
	世界の諸地域の生活・文化	北アフリカ・西アジア・中央アジアの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	2
11月	世界の諸地域の生活・文化	北アフリカ・西アジア・中央アジアの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	2
	世界の諸地域の生活・文化	中南アフリカの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	3
	世界の諸地域の生活・文化	ヨーロッパの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	5
12月	2学期のまとめ	2学期の学習内容を整理し、まとめることができる。	2
1月	世界の諸地域の生活・文化	アングロアメリカの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	4
2月	世界の諸地域の生活・文化	アングロアメリカの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	1
	世界の諸地域の生活・文化	ラテンアメリカの諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	4
3月	1年間のまとめ	1年間の学習内容を整理し、まとめることができる。	3

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科(地歴)科目(世界史B) 年間授業計画

教科: 科目:世界史B 単位数: 4単位

対象学年組: 第2学年 1組~6組

教科担当者: (1組:川副)(2組:川副)(3組:川副)(4組:川副)(5組:鈴木(光))(6組:鈴木(光))

使用教科書: (高校世界史B改訂版(山川出版社))

使用教材: (資料集「アカデミア」(浜島書店)・自前プリント)

	指導内容	科目世界史B 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	オリエンテーション 西暦	西暦が基準としているものを理解し、ヨーロッパ世界が中心となっていることに気づかせる。	2
	ギリシアのポリス社会 アレクサンドロス帝国	都市国家=ポリスの特徴とその成立過程を理解できる。 重装歩兵の成立を契機に民主化が始まったことを理解する。 アレクサンドロス大王の東方遠征により、ヘレニズム文化が誕生したことを説明できる。	3
	ローマ帝国	都市国家ローマが地中海世界を統一し、大帝国を形成した過程を理解できる。 キリスト教がローマ帝国で迫害され、その後公認された理由を説明できる。	3
5 月	ユダヤ教	ヘブライ人が唯一神ヤハウェへの信仰からユダヤ教を成立させたことを理解する。	2
	キリスト教の成立 イスラームの成立	キリスト教・イスラームがユダヤ教の影響を受けていることを理解する。 3つの宗教の特徴を捉えることができる。	4
	ヨーロッパ世界の形成	ヨーロッパ世界はラテン人だけでなく、ゲルマン人やアジア系民族との融合によって形成されたことを理解する。 ヨーロッパにおいて、キリスト教会・教皇が権力を握っていった過程を説明できる。	2
6 月	大航海時代	ポルトガルによるインド航路発見に至る経過を概観し、発見の意義について理解させる。	3
	ルネサンスと宗教改革	ルネサンスは近代につながる運動であると同時に、ギリシア・ローマの古典文化を復興させようとする一種の復古運動であったことを理解させる。宗教改革は社会改革運動として政治的変革にも大きな影響を及ぼしたことを理解させる。	5
	主権国家 イギリスの2つの革命	ステュアート朝の専制政治に対抗する議会の抵抗を、権利の請願の内容とその意義に重点を置いて理解させる。	2
	フランス絶対王政 三十年戦争	ウェストファリア条約によるドイツ国内情勢や国際関係の変化を確認させる。	2
7 月	産業革命 南北アメリカの革命	産業革命がなぜ綿工業分野から始まったのか理解させ、一連の技術革新の進行の過程を具体的に理解させる。	3
9 月	フランス革命とナポレオン	フランス革命からナポレオン時代にわたる国際戦争の性格を考察させ、結局産業革命を背景に資本主義確立期に入っていたイギリスの勝利に終わったことを理解させる。	6
月	ウィーン体制の成立と動揺	ウィーン体制の反動性と各国における自由主義・民族主義運動の展開について考察させる。	3
	帝国主義と列強の展開	帝国主義の多様な性格(技術革新、アジア・アフリカに対するまなざし、移民との関係、経済的変容、国民の動員など)を理解させ、その影響について考察させる。	3
月	中華帝国の崩壊と中華民国の創立	辛亥革命において、なぜ革命勢力が伸長したのか、その背景を理解させるとともに孫文の三民主義について理解させる。	3
	第一次世界大戦とヴェルサイユ体制	20世紀の戦争が19世紀までの戦争と異なり、「総力戦」としての性格を持つようになったことを理解させる。	4
日	ファシズム	ファシズムの持つ暴力性を生徒に伝えることは大前提として、巧みな大衆操作についても具体的事例をあげつつ理解させ、その大衆的性格を指摘する。	3

1 月	アメリカの大量消費社会と世界恐慌	ニューディール政策の性格とその効果とを理解させる。その際、草の根運動の大切さ（民主主義的手法）について言及する。	3
2 月	ナチ党の政権掌握	ナチス＝ドイツのヴェルサイユ体制打破の過程について略年表や略地図を作成させるなどし、ナチズムの様々な性格、特にその大衆運動として性格を理解させる。	4
3 月	第二次世界大戦	太平洋戦争の原因と意義を、中国戦線やヨーロッパ戦線の動向との関連について理解させる。	5
4 月	冷戦	戦後の国際秩序・金融体制は、アメリカ合衆国の主導によって成立したことを理解させる。	3

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科(地歴)科目(日本史B) 年間授業計画

教科:地歴 科目:日本史B 単位数:4単位

対象学年組:第3学年 1組~6組

教科担当者:(1組:金子)(2組:金子)(3組:金子)(4組:鈴木)(5組:金子)(6組:鈴木)

使用教科書:(新選日本史B (東京書籍))

使用教材:(最新日本史図表 四訂版 (第一学習社))

	指導内容	科目○○○ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	・オリエンテーション 近世「ヨーロッパ文化との接触と国内統一」 ・ヨーロッパ文化との接触 ・織豊政権と桃山文化 ・幕藩体制の成立と構造	・南蛮人との接触について、世界の動きの視点から捉え、南蛮貿易によって日本社会がどのように変化したのかを考察する。 ・織豊政権の統一事業について、外交と国内政策の視点で理解し、桃山文化との関係性を整理する。 ・江戸幕府の幕藩体制の確立について理解し、鎖国体制について考察する。	8
5 月	近世「幕藩体制の展開」 ・幕政の安定と身分制度 ・経済発展と元禄文化	・元禄時代の政治について、「なぜ文治政治に転換したのか」・「綱吉の政治」・「正徳の治」を当時の社会情勢などを捉えながら理解する。 ・商品経済の発展とその影響について理解する。 ・元禄文化について視覚的に理解する。	8
6 月	近世「幕藩体制の動揺」 ・三大改革 ・幕府の衰退と化政文化	・江戸時代の三大改革について理解する。 ・化政文化と庶民の台頭について理解する。	14
7 月	近世「幕藩体制の動揺」 ・幕末の動乱	・内憂外患の時代について、当時の国際情勢や国内の動乱を捉えながら、なぜ日本は幕末へ向かっていったのかを考察する。	6
9 月	近代「近代国家の成立」 ・明治維新	・明治新政府の政策について、国内政策・外交の視点から理解し、国際情勢の認識へと繋げる。	5
月	近代「近代国家の成立」 ・立憲国家の成立 ・新政府の外交 ・近代文化	・明治新政府の政策について、国内政策・外交の視点から理解し、国際情勢の認識へと繋げる。 ・近代化した日本の文化について理解する。	10
月	近代「世界大戦とアジア」 ・第一次世界大戦 ・ワシントン体制 ・恐慌の時代	・第一次世界大戦とワシントン体制について、国際情勢を理解し、国内への影響を整理する。	14
月	近代「世界大戦とアジア」 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	・世界大戦と関東大震災から恐慌期の日本経済について理解する。 ・第二次世界大戦の発端と影響について、当時の日本国民の生活や映像記録などを用いながら考察する。	6
1 月	近代「戦後の日本」 ・占領と改革 ・冷戦と外交 ・高度経済成長	・占領期の国内改革について理解する。 ・冷戦期の外交について国際情勢のなかで理解する。 ・高度経済成長による国内への影響について整理する。	5

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（公民）科目（現代社会） 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1組：渡邊）（2組：渡邊）（3組：渡邊）（4組：渡邊）（5組：渡邊）（6組：渡邊）

使用教科書：（実教出版 最新現代社会 新訂版）

使用教材：（パワーポイント プリント）

	指導内容	科目 現代社会 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	現代国家と民主政治	今日、基本的人権を享受できていることの歴史的背景を理解し、人権尊重の精神を培う。	4
5 月	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法ができた過程を理解し、三大原則に則る我が国の基本理念を理解する。憲法の精神を理解した上で、平和や人権を尊ぶ心を育む。	5
6 月	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法ができた過程を理解し、三大原則に則る我が国の基本理念を理解する。憲法の精神を理解した上で、平和や人権を尊ぶ心を育む。	4
	日本の政治機構と政治参加	主権者として選挙権を間もなく手にすることを自覚し、その上で我が国の政治体制を自分のこととして理解する。選挙における一票の重要性を理解し、投票につながるよう理解を深める。	5
7 月	1学期のまとめ	憲法の内容を再度よく理解し、来たるべき選挙への準備をする。	4
9 月	日本の政治機構と政治参加	主権者として選挙権を間もなく手にすることを自覚し、その上で我が国の政治体制を自分のこととして理解する。選挙における一票の重要性を理解し、投票につながるよう理解を深める。	4
	現代の経済社会	経済とは何かを理解し、生活における自らの関わりを自覚する。	2
月	現代の経済社会	国内経済の仕組みを理解し、働くことやお金の大切さ、社会における労働の意義などを考える。	6
月	日本経済の特質と国民生活	日本が歩んできた経済の歩みを知り、今後自分が選択すべき道を考えられるようにする。	8
月	2学期のまとめ	国内の経済の仕組みと、現在の経済状況を結びつけ、自分の生活における経済の意義を理解し、自身の敬愛活動につなげていく。	4
1 月	日本経済の特質と国民生活	様々な分野の日本経済の特徴を知り、今後必要になっていること～自分の行動を選択できるようにする。	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科(地歴)科目(世界史B) 年間授業計画

教科: 科目: 世界史B 単位数: 4単位

対象学年組: 第3学年 1組~6組の13名(1クラス)

教科担当者: (1組:川副)(2組:川副)(3組:)(4組:川副)(5組:川副)(6組:川副)

使用教科書: (高校世界史B改訂版(山川出版社))

使用教材: (資料集「アカデミア」(浜島書店)・自前プリント)

	指導内容	科目 世界史B 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	<フランス革命とナポレオン> ①皇帝ナポレオン②ナポレオンの没落	対外戦争の勝利に偏らず、大陸封鎖令をもとにナポレオンの政策の理解を深める。	1
	<ウィーン体制の成立> ウィーン体制②七月革命とイギリスの自由主義的改革	① フランス革命前の旧体制に歴史の歯車を戻した体制がウィーン体制であることを示し、それが、なぜ崩壊していくのかを理解していく。	2
	<ウィーン体制の成立> ③ギリシアの独立と東方問題④社会主義思想の成立	ウィーン体制崩壊初期の「ギリシア独立」がどのような意味を持つのかを多面的に理解を深める。	2
	<ウィーン体制の成立> ⑤1848年の革命	1848年の二月革命を中心にヨーロッパ全体に与えたその影響を独立・統一・自由の観点から理解を深める。	2
	<ヨーロッパの再編> ①クリミア戦争とロシアの改革	ロシアがクリミア戦争に敗北した理由を考察させ、その後のロシアの改革がどのような形になっていくかの理解を深める。	1
5 月	<ヨーロッパの再編> ②19世紀後半のイギリスとフランス	ヴィクトリア女王時代に繁栄したイギリスについては2大政党制の理解を、フランスについてはナポレオン3世の政治、第三共和政の理解を深める。	3
	<ヨーロッパの再編> ③イタリアの統一	青年イタリアによる「下」からの統一ではなく、サルデーニャ王国による「上」からの統一によってイタリア統一がなされたことの意味を理解させる。	3
	<ヨーロッパの再編> ④ドイツの統一	プロイセン中心にドイツが統一されていくことを、鉄血宰相ビスマルクを軸に理解を深める。	3
	<ヨーロッパの再編> ⑤ドイツ帝国の成立とビスマルク外交	ドイツ統一後のビスマルク外交の意味を考察していくことで、当時のヨーロッパ情勢を読み解いていく。	3
	<ヨーロッパの再編> ⑥北ヨーロッパ諸国の動向⑦国際的諸運動の進展	第1インターナショナル結成の背景を説明し、マルクス派とバクニン派が対立して瓦解してしまったことを理解させる。	2
6 月	<南北アメリカの発展> ①ラテンアメリカの独立	黒人共和国としてハイチがフランスから独立したことを説明する。これをもとに、他のラテンアメリカ諸国の独立がクリオーリヨ中心であることが示し、その意味するところを考察させる。	3
	<南北アメリカの発展> ②アメリカ合衆国の領土拡大	独立当時のアメリカ合衆国の領土は大西洋側に限られ、その後、領土を西に広げ、大陸国家に発展していく過程をみる。その時にマニフェスト・デスティニーという白人中心の考え方で、インディアンを征服していった意味を考えさせる。	3
	<南北アメリカの発展> ③南北戦争とその結果④合衆国の重工業化と大国化	南北戦争をリンカンの奴隷解放宣言からみるのではなく、北部と南部の経済構造の違いに着眼して考察する。	3
	<西アジアの変容> ①オスマン帝国支配の動揺②オスマン帝国の改革	オスマン帝国の領土や権益がヨーロッパの列強に浸食されていく中で、オスマン帝国の改革がシステムとして西欧化することにあることに着目する。	3
	<西アジアの変容> ③アラブ民族の目覚め④エジプトの改革と挫折③イラン・アフガニスタンの動向	オスマン帝国政府のグリップが弱体化する中で、その周辺部で、アラブ人たちが自立していくことに注目する。中東が西欧列強に浸食されていく様子を見ていく。	2
<南アジア・東南アジアの植民地化> ①イギリスのインド支配	ブラッシーの戦いからインド大反乱鎮圧まで通して、イギリスのインド支配とはどのような変遷があったかを考察する。	2	
<南アジア・東南アジアの植民地化>	西欧列強が東南アジアを植民地化していく過程をみる。そして、その場所でのどのような商品作物を栽培させる	1	

7月	②ヨーロッパ勢力の東南アジア支配	かに注目して、植民地化の狙いを考察したい。	4
	<東アジアの激動> ①清朝の動揺とアヘン戦争	アヘン戦争にいたる経緯を詳細に検討してアヘン戦争の理解を深める。イギリスの思惑に着目して、南京条約を読み解いていく。	1
	<東アジアの激動> ②欧米諸国の進出と清の対応	アヘン戦争後の列強と清朝の関係について、ロシアの思惑にも注目して考察していく。	1
9月	<東アジアの激動> ②欧米諸国の進出と清の対応	アヘン戦争後の列強と清朝の関係について、ロシアの思惑にも注目して考察していく。	2
	<東アジアの激動> ③太平天国の乱と近代化の始まり	太平天国の乱を「滅満興漢」のスローガンををもとに考察する。清朝初期の改革として洋務運動の問題点に焦点を当てる。	2
	<東アジアの激動> ④日本の近代化と対外進出	日清戦争について、朝鮮半島の甲午農民戦争がきっかけとなっていることに注目させて、その本質を考察させる。	2
	<帝国主義と列強の展開> ①第2次産業革命と帝国主義の成立	帝国主義とはどのようなことか、列強が植民地に求めることを考えさせることで、理解を深めさせる。	2
10月	<帝国主義と列強の展開> ②欧米列強の帝国主義と国内政治	イギリス、フランス、ドイツ、ロシアについて、第一次大戦前の状況を各国の状況を羅列的に提示する。特に、ドレフス事件の持つ意味を考察させる。	2
	<帝国主義と列強の展開> ③第2インターナショナルの結成	第2インターナショナル結成の背景を説明し、第一次世界大戦前に崩壊する理由を考察する。	3
	<世界分割と列強対立> ①アフリカの植民地化	イギリスがアフリカの中でもエジプトと南アフリカを押さえてたことを、3C政策をもとに理解を深める。イギリス以外の列強もアフリカを植民地化していくことを示す。	3
	<世界分割と列強対立> ②太平洋地域の分割	特に、ハワイ王国がアメリカに併合されていくことに注目し、帝国主義の非常さの理解を深める。	3
	<世界分割と列強対立> ③ラテンアメリカ諸国の従属と抵抗④列強の二極分化	メキシコがアメリカ合衆国に経済的に従属させられていく点に注目しつつ、メキシコ革命の持つ意味の理解を深める。	3
11月	<アジア諸国の改革と民族運動> ①中国分割の危機と清の対応	列強の中国進出とそれに抗う義和団事件をおいながら、清朝末期の状況を考察する。	2
	<アジア諸国の改革と民族運動> ②日露戦争と日本の韓国併合	列強の思惑を提示しながら、世界史的観点で日露戦争を考察する。	3
	<アジア諸国の改革と民族運動> ③中国の革命運動とその影響	清朝末期の改革と、清朝という入れ物自体を壊して変えようとする孫文の革命を対比しながら、辛亥革命の理解を深める。	3
	<アジア諸国の改革と民族運動> ④インドにおける民族運動の形成	インド国民会議派のカルカッタ大会のスローガンに着目し、インドの民族運動の展開を予想させる。民族運動の肝は何か、考察させる。	3
	<アジア諸国の改革と民族運動> ⑤東南アジアにおける民族運動の形成⑥西アジアの民族運動	特に、ヴェトナムのファンボイチャウの民族運動に着目して、日本との関係にも触れながら、考察を深める。	3
日	<第一次世界大戦とロシア革命> ①バルカン半島の危機②第一次世界大戦と戦時外交	オスマン帝国の弱体化、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの民族問題、大国の思惑が複雑に絡み合う問題の理解を深める。	4
	<第一次世界大戦とロシア革命> ③総力戦と大戦の結果④ロシア革命	総力戦の持つ意味を考察する。ロシア革命の持つ意味も考察する。	2
	<第一次世界大戦とロシア革命> ⑤ソヴィエト政権と戦時共産主義⑥ネップとソ連の成立	資本主義国である列強が対ソ干渉戦争に乗り出していくこと、ソ連側がコミンテルンを結成して対抗していくこと、その意味を考察する。	2

12	<p><ヴェルサイユ体制下の欧米諸国> ①ヴェルサイユ体制とワシントン体制</p>	<p>ヴェルサイユ体制とワシントン体制の理解が戦間期の理解には不可欠であるため、詳細に説明する。覇権国がイギリスから徐々にアメリカに移りつつあることにも気づかせる。</p>	3
	<p><ヴェルサイユ体制下の欧米諸国> ②国際協調と軍縮の進展③西欧諸国の停滞</p>	<p>第一次大戦後、人類はその反省にたって、不戦条約までいったが、第二次世界大戦を招いてしまった。不戦条約の精神が現在の日本国憲法に入っていることをどのように考えるか、考察する。</p>	3
1 月	<p><ヴェルサイユ体制下の欧米諸国> ④イタリアのファシズムと東欧・バルカン諸国の動揺</p>	<p>ファシスト党が民主主義的な手続きではなく、非合法的形で政権を奪取し、独裁体制を確立したことを理解し、その問題点は何か考察する。</p>	1
	<p><ヴェルサイユ体制下の欧米諸国> ⑤ソ連の社会主義建設とアメリカ合衆国の繁栄</p>	<p>アメリカ合衆国の経済が大いに繁栄したことをT型フォードを例に説明する。資本主義経済とソ連の社会主義経済とを比較する。</p>	1
	<p><アジア・アフリカ地域の民族運動> ①第一次世界大戦と東アジア②日本の動きと東アジアの民族運動</p>	<p>文学革命という啓蒙運動が、五四運動という民族運動に昇華されていくことの意味を理解する。</p>	1
	<p><アジア・アフリカ地域の民族運動> ③国民党と共産党</p>	<p>国民党と共産党が合作することで中国統一に向かうが、蒋介石によってその協力関係が終わる意味を理解する。</p>	1
	<p><アジア・アフリカ地域の民族運動> ④東南アジア・インドにおける民族運動の展開</p>	<p>インドはガンディーとネルー、インドネシアはスカルノ、インドシナはホーチミンに焦点を当てて民族運動の理解を深める。</p>	1

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科(地理歴史)科目(日本史B 自由選択科目) 年間授業計画

教科: 地理歴史 科目: 日本史B 単位数: 4単位

対象学年組: 第3学年 自由選択科目

教科担当者: (金子)

使用教科書: (新選日本史B (東京書籍))

使用教材: (最新日本史B図表 四訂版 (第一学習社))

	指導内容	科目○○○ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	原始・古代「日本文化のあけぼの」 ・旧石器時代 ・縄文時代と弥生時代 ・クニの誕生と邪馬台国	・各時代を代表する遺跡や遺物、文献資料などから、歴史を考察することの重要性を理解することができる。 ・旧石器文化と縄文文化の特色を食料資源や使用した道具の違いによって区別できる。また、呪術的な風習が行われたことを理解できる。 ・水稻耕作の開始と金属器の使用に着目し、弥生文化の特色について理解できる。 ・小国が形成され、互いの抗争の中で邪馬台国が統合したことを東アジア情勢のなかで捉えることができる。	8
5 月	原始・古代「古代国家の形成と東アジア」 ・東アジア情勢と日本 ・ヤマト政権と古墳時代 ・飛鳥時代	・大和政権の成立と国内統一の過程を東アジア世界の変化とともに理解できる。 ・推古朝の政治、遣隋使の派遣や飛鳥文化の特色を理解できる。	8
6 月	原始・古代 「古代国家の成立」 ・律令国家の形成過程 ・律令国家の社会と政治	・律令とは何かを理解し、律令制による統治システムを理解する。 ・大化改新、壬申の乱を経て、律令に基づく国内統治体制が整備されたことを理解でき、平城京遷都、遣唐使、国分寺建立や藤原氏の政界進出について理解できる。 ・天平文化の特色を知る。また、造寺・造仏や記紀の編纂が国家事業として進められたことを知る。	14
7 月	原始・古代「古代国家の推移と社会構造の変化」 ・平安時代と藤原氏	・平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたことを理解できる。 ・摂関政治全盛期の外戚政治について理解できる。 ・日本の風土や生活に適合した新しい貴族文化が進化したことを理解できる。	4
9 月	中世「中世成立期の社会」 ・中世の社会構造 ・武士の台頭と院政	・寄進地系荘園の発生と武士との関係性から中世の社会構造について理解できる。 ・摂関政治に代わって院政が開始されたことを理解できる。 ・院政期の文化について武士の台頭と結びつけながら理解できる。	10
月	中世 「武家政権の成立と鎌倉文化」	・鎌倉幕府の成立、執権政治について理解できる。 ・武士社会における御成敗式目の制定、惣領制について当時の農村との関係性を踏まえて理解でき	14
月	中世「室町幕府」 ・建武新政と南北朝動乱 ・室町幕府の安定	・建武の新政から南北朝動乱へつながる流れを整理することができる。 ・守護大名の登場と室町幕府の成立について理解できる	12
	中世「武家社会と東アジア」 ・倭寇と東アジアの交易	・日明貿易や日朝貿易について、当時の東アジア世界の国際関係に注目し、比較しながらその共通点や相違点を考察する。 ・琉球や蝦夷地について理解する。	4
	中世「下剋上の社会と戦国大名」 ・産業の発達と応仁の乱	・中世社会における産業の様子について、商品・貨幣・輸送に注目して理解する。 ・応仁の乱について、発生の背景・結果を考察し、下剋上の風潮が生まれたことを理解する。	4
1 月	中世「下剋上の社会と戦国大名」 ・群雄割拠と分国統治	・戦国大名による支配体制を理解する。	4